

2021.8.31 WEEKLY WRAP SCRIPT (日本語)

MARIANNE: 皆さん、こんにちは。さっそく株式市場を振り返ってみましょう。

それではABキャピタル証券株式会社のランスさんに今週の株式市場の報告をしていただきます。

MR. LANCE: 皆さん、おはようございます。先週は、ファイザー社とバイオテック社が共同開発したCovidワクチンがFDA(米国食品医薬品局)に承認されたことで、主要産業が大きく盛り上がりました。これにより、消費者がワクチンを摂取することへの信頼感が高まり、また、より多くの企業がワクチン接種を義務付けるようになるでしょう。フィリピンの経済ニュースですが、政府は2022年の国家予算として5兆円を議会に提出しました。これは昨年の予算よりも約11%高く、予算のほとんどは教育と民主社会主義省に充てられています。次期予算の債務残高は8,733億ドルで、これは通期目標の49%に相当します。いくつかの経済ニュースで、フィリピンは準備金を増やすための引き出し権を得ました。最終的に、フィリピンのGDPは2023年までにパンデミック前の水準に戻ると予想されていますが、もちろん地域的には遅れています。ご存じのように、デルタ・バリエーションの蔓延により、フィリピンでは消費回復が妨げられており、さらにワクチン接種に関してもフィリピンは遅れています。企業ニュースとしては、DITOの取締役会が新株予約権の発行を承認したこと、ERCがNGCPの上場を予定していたことから、NGCPを今年中に上場させたいと考えていること、そして最後に、通信会社の公益事業としての維持に反対していることが挙げられます。基本的に、いくつかの企業グループは、通信会社を公益事業とすることに反対しています。

MR. IEMURA: 通信業界の株がフリーになった理由ですが、通信業界が株を探すのに何か問題があったのでしょうか？

MR. LANCE: ええ、基本的にはニュースに左右されるだけです。これらの会社は基本的に何も変わっていません。ただ、通常、このような、外国人の所有権の制限を100%にするような動きがあるときには、そのような動きがあります。基本的には、そのセクターの株式は競争しています。先週の電話会社セクターの動きを見てみると、そのようになっています。

MR. IEMURA: 通信業界は外国人の所有権が100%認められているのですか？

MR. LANCE:それはまだ協議中です。

MR. IEMURA:現在のところ、最大の割合は？

MR.LANCE:現在、最大40%です。

MR. IEMURA:現在は40%が最大の所有権です。例えば、チャイナ・テレコムはDITOに対して40%もの所有権を持つことができます。なるほど、この手のニュースは先週出てきましたね。

MR.LANCE:はい。だからこそ、私たちも暴騰を目の当たりにしたのですね。そうですね。

MR. IEMURA:それが今、先週のテレコム・セクターの大きな上昇の理由です。

MR. LANCE:はい。テレコとコンバージ

MR. IEMURA:32%です。これでは1ヶ月しかありません。私は1週間欲しい。

MR. LANCE:はい、先週分です。

MR. IEMURA:先週の方。ああ。なるほどね。AC.....ACが上がるという話は？

MR. LANCE:GLOBEの親会社

MR. IEMURA: ああ、GLOBEの親ね。わかったわかった、APってなんだっけ？

MR. LANCE: アボイティズ・パワー

MR. IEMURA: ああ、アボイティズ・パワーですね、わかりました。

MR. LANCE: 先週の外国為替取引の純購入額は19億ペソで、今週は2週間連続の純購入で、今年に入ってから
の純流出額は6300万ペソになります。つまり、過去4週間にわたって純購入が行われており、指数が大幅に低下
したため、買い戻しが行われているのかもしれない。

MR. IEMURA: 外国人の買いが増えている理由は、外国人投資家がフィリピンの株式は割安な価値があると考え
ているからです。

MR. LANCE: 外国人の買いが増えているのは、外国人投資家がフィリピンの株式は割安だと考えているからで
す。今日のニュースにもかかわらず、フィリピンの経済、株式市場は再び上昇傾向にあります。
なぜなら、今、フィリピンでは患者が再増加しており、COVIDの患者数も1日の記録を更新しているからです。

MR. IEMURA: 1日あたり2万件

MR. LANCE: はい、陽性率も30%近くに達しています。それにもかかわらず、市場は持ちこたえているので、その
こともポジティブな感情の原因になっていると思います。

MR. IEMURA: ああ、外国人投資家は、今は最悪で、状況はこれから良くなっていくと考えています。

MR. LANCE: ええ、6270が下がって以来、指数はずっとこのレベルを維持していますので、そのおかげだと思
います。4,810万人分のワクチンが到着し、少なくとも3,100万人分が投与されています。1回目が1,800万人分、2回
目が1,300万人分で、これは国内人口の12%に相当します。3年目の第4四半期には、ワクチンの展開がさらに加
速すると予想されており、保健省では、9月から12月にかけて毎月約2,000万本のワクチンが届くと見込んでいま

す。繰り返しになりますが、これは個人消費がパンデミック前の水準に戻る時期を予測するための良い指標になると考えています。ワクチンの供給に関しては、政府が目標としている7,000万人の聴取免疫のうち、2,300万人の個人に完全に接種するのに十分な量があります。また、現在の接種時期であれば、1日あたり約40~50万人が接種できます。来年の第1四半期か第2四半期には聴取免疫を獲得できるでしょう。繰り返しになりますが、最近の成長を考えると、現在は年間で4.9%です。RSリートの募集期間は8月25日から9月3日までで、リバランスの最終日は今日です。製造業PMIIは9月1日に行われます。失業率とインフレ率は9月7日です。これまで述べてきたように、今、短期的には上昇トレンドが見られます。62.70前後の安値から高値、安値も高くなってきています。先週については、直近の高値にも到達していますので、68.50前後の高値をつけています。今ですね。今は、68と68.50の抵抗を見ているわけです。繰り返しになりますが、現在の上昇トレンドを考えると、数日間使用したにもかかわらず、データ件数や陽性率が記録的な数になっていることを考えると、このような状況になっています。それにもかかわらず、市場に大きな落ち込みは見られません。市場はこのレベルで維持されています。ですから、心理的なサポートレベルである67と66に積み上げておくのが良いと思います。今日のまとめは以上です。

MR. IEMURA: ありがとうございました。先週の大きな動きは、通信セクターが急上昇したことですね。ジャンプアップですね。また、政府は11%増と言っていましたね。来年2022年は？主に、どの部分が増えているのか？どのような予算が増えているのでしょうか？

MR. LEXTER: これは全体的なものだと思います。しかし、政府はインフラ側をよりターゲットにしているのでは？

MR. IEMURA: インフラ？Build , Build Build?

MR. LEXTER: はい。しかし、ここ数年はDPWH(教育省)は、教育のインフラ整備を敬遠してきました。それらは通常、予算不足で妨げられています。

MR. IEMURA: オーケー。そうですね。では、政府が支出する教育費の割合はどのくらいですか？

MR. LEXTER: そうですね、通常は学校の増設、特に地方に公立学校を建設し、奨学金を支給します。また、州立大学にも資金を提供しています。

MR. IEMURA: ああ、なるほど。そうなんですね。わかりました。では、電気通信分野の今後の動きについてはどう思われますか？政府は外国人に市場を開放するというが。

MR. LEXTER: まだまだ上があると考えています。ですから、これは間違いなくポジティブな兆候です。それに加えて、モバイル・ペイメントの分野でも、この分野を後押ししていると思います。G cash for globeをご存知の方は、初めて利益を計上したことをご存知でしょう。一方、PAYMAYAを展開するPLDTは、2024年までに収支を均衡させる予定です。このように、TELCOSとPLDTでは、Eコマースとウォレットサイドのウォレットビジネスが大きく伸びています。つまり、これは実際に超成長段階にあるということです。Gcash a loadの顧客数は、数年前のわずか2,000万人から大幅に増加しました。今ではすでに4,000万人に達しています。これは人口の約半分に相当します。

MARIANNE: レクスターさん、家村さん、松下さん、本日はありがとうございました。以上、ABキャピタル証券による週刊株式市場のまとめでした。ありがとうございました。また来週お会いしましょう。